

## 農業貿易特論 (2単位)

担当者氏名 金田憲和

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

世界の農業貿易の現状を紹介し、さらにその経済学的分析のために必要な国際貿易理論を解説する。はじめに部分均衡分析の手法により、一つの財の国際市場の価格メカニズムを解説し、食料貿易に応用する。次に、一般均衡分析の方法により、2財以上のケースの理論を解説し、再び食料貿易に応用する。

本講義の到達目標は、農産物の貿易問題について経済理論に基づいた考え方を学び、学生自らも考察できるようになること、である。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業貿易

貿易理論

部分均衡分析

リカード・モデル

H0モデル

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	イントロダクション	全体の導入	全体の導入
2	部分均衡の概念	部分均衡の概念	部分均衡の理解
3	余剰分析の方法 1	生産者余剰の概念	生産者余剰の理解
4	余剰分析の方法 2	消費者余剰の概念	消費者余剰の理解
5	貿易政策 1	IQ 制度	IQ 制度の理解
6	貿易政策 2	関税政策	関税政策の理解
7	貿易政策 3	不足払い制度	不足払い制度の理解
8	一般均衡の概念	一般均衡の概念	一般均衡の理解
9	リカード・モデル 1	リカード・モデル	リカードモデルの理解
10	リカード・モデル 2	リカード・モデル	リカードモデルの理解
11	H0 モデル 1	ヘクシャー・オリーン・モデル (H0 モデル)	H0 の理解
12	H0 モデル 2	ヘクシャー・オリーン・モデル (H0 モデル)	H0 の理解
13	その他のモデル 1	他の貿易モデルについて説明する	他の貿易モデルの理解
14	その他のモデル 2	他の貿易モデルについて説明する	他の貿易モデルの理解
15	まとめ	まとめ	まとめ

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

プリントを配布する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

食料環境経済学を学ぶ/東京農大食料環境経済学科/筑波書房 (2007)

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート1回30%、期末試験70%で評価。

### ◆その他受講上の注意事項

特になし。